

「みまもりくん」で マスターする 省燃費・安全ドライビング 第46回

ケーススタディー
41 | プロフィット株式会社

緻密な運行管理から業務の効率化まで幅広く活用。

お客様の調達物流を支える運行体制を確立

広島県東広島市に本社を構えるプロフィット株式会社は、設立当初、梱包用の段ボールケースの県内配達から事業をスタート。当時は代表取締役の重田一彦氏も、自らドライバーを務めながら営業活動に従事していたそうだ。

その甲斐もあって、同社は県内の自動車部品メーカーに納品される部材の巡回集荷業務や、大手住宅メーカーの建材配達業務を受託する。なかでも自動



代表取締役 重田一彦 氏

『みまもりくん』の運行データを活用し、 緻密な運行管理と収益力強化を実現

重田社長が意気込むには、それ相応の根拠がある。実は同社、3年前から『みまもりくん』を導入し、運行管理及び事務業務の効率化で業績を伸ばしてきたのだ。重田社長が『みまもりくん』を導入された経緯についてお尋ねした。

「以前に導入したデジタコは、カードが破損したり、カードそのものを紛失したり、トラブルが絶えませんでした。しかもシステム機器やサービス使用料金も高額。そんなとき、いすゞのエコドライブセミナーで『みまもりくん』を体験。聞けば『みまもりくん』はクラウドを活用したデジタルシステムでカードレス。また役立つ機能が豊富な上に、月々の使用料もリーズナブル。これだ、と思いましたね。現在、当社では全車両に『みまもりくん』を搭載しています」

『みまもりくん』導入後、同社が最初に活用した機能は、リアルタイムに運行状況が把握できる「車両位置お知らせサービス」である。運行中に急な予定変更が生じても、臨機応変に対応できるようになったそうだ。また「荷主様専用メニュー」でお客様も運行管理画面



本社営業所 所長 渋谷建二 氏

車部品メーカーの巡回集荷業務は、調達物流

の改善策として重田社長が提案した仕事である。現在では、工場の生産計画に基づいて綿密な運行ダイヤが組まれ、ジャストインタイムの部材調達が実現されているという。こうして安定した経営基盤を築き上げてきた重田社長。そんな同社も

今年で、会社設立20周年目を迎える。重田社長は、これからも経費削減、業務の効率化を図る中で収益力を強化し、さらに新規の顧客開拓に取り組んでいきたいと意気込む。



【会社概要】

会社名：プロフィット株式会社
本社所在地：広島県東広島市八本松町宗吉170番地1
設立年月日：1992年11月8日
代表取締役：重田一彦
社員数：36名
保有車両台数：28台

が閲覧できるように設定。お客様も「車両の運行状況が即座にわかるので安心だ」と好評だという。

また同社では、『みまもりくん』を活用し始めてから燃費も大幅に改善されたそうだ。本社営業所で所長を務められている渋谷建二氏は『みまもりくん』の導入効果について次のように語られた。「導入して間もないころ、社内で省燃費コンテストを実施しました。省燃費運転レポートに記録される点数と燃費を社内に掲示したところ、大型車で燃費4km/lを達成したドライバーも現れました。導入前と比較して平均で10%近くは燃費が向上しましたね。また数名のドライバーは1ヵ月間連続で100点満点を記録するなど『みまもりくん』は安全運転にも役立っています」

さらに同社では、独自に集計ソフトを開発。『みまもりくん』の運行データを活用して、請求書や勤怠表などを作成しているそうだ。人件費や車両費、燃料費の削減には限界があるため、こうした管理業務を効率化することで諸経費の削減に努めている。『みまもりくん』は、同社の収益力の強化、経営の合理化にも大いに貢献しているのだ。

*高度運行情報システム「みまもりくんオンラインサービス」は、環境負荷の低減に配慮したすぐれた製品・サービス（エコプロダクト）を表彰する2005年エコプロダクト大賞において、エコサービス部門国土交通大臣賞を受賞。2007年には、モバイルコンピューティングの普及促進団体MCPCIによる第5回MCPCI awardグランプリ（大賞）及び総務大臣賞、モバイルビジネス賞を受賞しました。さらに2009年、優れた省エネルギー性を有する民生用エネルギー利用機器・資材及びエネルギー利用システムを表彰する平成20年度省エネ大賞で経済産業大臣賞を受賞しました。



■みまもりくん搭載車両の運用方法

導入時期	2009年から全車両に導入
運行経路	主に広島県内及び近郊、一部山口県、兵庫県など
乗務状況	二交代制



同社では全車両に『みまもりくん』が搭載されています。



導入効果・検証1

「車両位置お知らせサービス」が ジャストインタイムの運行を実現する

自動車部品メーカーに納品する部材の巡回集荷業務はジャストインタイムが原則。万一、遅延などが生じると工場の生産ラインを停止させてしまうため、渋谷所長は「車両位置お知らせサービス」で車両の運行状況を随時確認しているそうだ。運行ダイヤの変更や追加の出荷依頼を要請されたときは、車両の運行状況を見ながら迅速に対応している。またお客様も「荷主様専用メニュー」で運行状況を確認されているとのこと。同社では運行状況をお客様と共有化することで、運行の効率化を実現している。

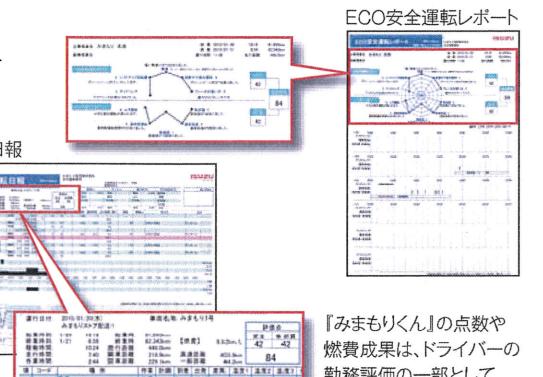


画面には車両の進行方向やドライバーの氏名のほか、車両状態（休暇、積卸、積載量など）も表示されます。

導入効果・検証2

適度な緊張感がドライバーの安全・省燃費運転を促進させる

同社の乗務体制は二交代制。また運行ダイヤの改正によって、乗務する車両を乗り換えることもあるそうだ。それでも優秀なドライバーは、どの車両に乗務しても、どこを運行しても「省燃費運転レポート」で好成績を収めているという。つまり省燃費運転も事故を未然に防ぐのも、要はドライバーの心がけ次第なのである。そこで同社ではレポートを活用して、ドライバーに問題点を徹底指導。同社では『みまもりくん』を搭載することで、ドライバーに適度な緊張感を与え、継続的な安全・省燃費運転を身につけさせることに成功している。



※上記の日報・レポートはサンプルです。

導入効果・検証3

運行データで帳票類を作成。管理業務の効率化に貢献

同社では『みまもりくん』の運行データを独自に開発した集計ソフトへ取り込み、請求書や勤怠表を作成。この際、自動でCSVファイルを保存できる「日報代行 CSV保存編」を活用することで、経理及び管理業務の省力化を実現している。将来的には給与明細をはじめ、各種帳票類も作成できるようにして、管理業務の効率化につなげたいという。もちろん、その削減したコストの一部は、安全運転にも投資する方針である。



「みまもりくん」に関するお問い合わせは、最寄りのいすゞ自動車販売会社までお寄せください。

いすゞ自動車のホームページから「みまもりくん」の情報がご覧いただけます。アクセス[http://www.isuzu.co.jp/cv/]